

令和3年度米子市美術館の管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木 隆 司 様

名 称 一般財団法人 米子市文化財団  
 報告者 所在地 米子市末広町293  
 代表者氏名 理事長 杉原 弘 一 郎 ㊞

<p>管理業務の 実施状況</p>	<p>1 施設管理の充実</p> <p>(1) 第1収蔵庫の改修工事に先立ち第1・2収蔵庫内の収納場所の配置替を行い、大型作品の寄贈受入に備えた。</p> <p>(2) 創作交流広場の樹木を剪定し、美観の維持に努めた。</p> <p>(3) 戸田海笛《喜怒哀楽の図》ブロンズレリーフの点検清掃を実施、あわせて同作のメンテナンス方法を学び良好な維持管理に努めた。</p> <p>(4) 来館者の要望を受けトイレ各個室内に荷物掛けフックとコーナースタンドを設置した。</p> <p>2 利用者サービスの向上など</p> <p>(1) 昨年度中止となっていた特別共催展「フォーエバー現代美術館コレクション 草間彌生展」を日程を改め開催。代表的なモチーフである「水玉」割引や作家名に因んだ8,413（やよいさん）人目来場者記念セレモニーなどを行い、話題を呼ぶ誘客に努めた。また本展から一部キャッシュレス決済を導入し、支払時の利便性向上を図った。</p> <p>(2) 郷土ゆかりの作家の掘り起こしの成果として、特別企画展「甦る日本画家 木下翠雨」を開催。調査した現存全作品を収録した図録を作成、完売となった。</p> <p>(3) 県内の美術館・博物館と連携し、「木下翠雨の里帰りと同時代を生きた郷土の日本画家たち」を会場館である日南町美術館などと共同企画し、収蔵品の貸出やギャラリートークに協力した。</p> <p>(4) 常設展を「コレクション展」と改称。また会期中に「おやこでアートじかん」「かぞくでアートじかん」を設定し、幼いころから美術に親しめる場所としてのアピールに取り組んだ。</p> <p>(5) ミュージアムスクール「アートな散歩」で新たに山陰歴史館と連携し、両館の学芸員が中心市街地を巡りながら野外彫刻や歴史的建造物などについて解説した。</p> <p>(6) 当財団連携事業「米子市文化財団カルチャー・フェスティバル」内で過去の展覧会ポスターを材料にペーパーバッグを作るワークショップ「レッツリメイク！ポスターバッグ」を実施。楽しみながらSDGsを体験できる機会を提供した。</p> <p>(7) 若手作家支援展「朝倉弘平 雲わく庭から」では新型コロナウイルス感染症の急拡大を受け会場内でのギャラリートークを中止したが、代わりに作家によるオンラインギャラリートークをYouTubeとTwitter上で配信し、鑑賞機会の拡大に努めた。</p> <p>(8) 令和元・2年度分の活動状況をまとめた年報第1号を刊行。初刊行を機に、開館以降の展覧会開催状況などを付録として収録した。</p> <p>3 施設管理業務 別紙1のとおり</p> <p>4 主催事業 別紙2のとおり</p>
<p>施設の利用状況</p>	<p>1 貸館利用者へのサービス向上</p> <p>(1) 希望団体の事前申請により、開館時間外の延長利用（開会式、搬入出作業）に対応した。</p> <p>(2) 利用者との打ち合わせを徹底し、広報物及び照明プランや展示レイアウトのアドバイスをを行った。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症対策強化のため、受付テーブル用に飛沫防止用アクリルボードを4枚追加購入し、貸出利用に供した。</p> <p>2 施設の利用状況 別紙1のとおり</p>
<p>使用料（利用料金）の収入実績</p>	<p>施設の利用収入 別紙1のとおり</p>

## 3 管理業務の実施状況

## (1) 施設管理業務

実施月	主 な 事 項
4月	女子トイレウォシュレットノズル蓋交換、第2収蔵庫純水器カートリッジ交換、電気設備点検、冷房準備点検、ガス閉栓
5月	冷却水ポンプ下基礎補修、冷却水ポンプ下漏水点検、第1展示室系統空調機Vベルト交換、エレベーター点検
6月	フェンス北側除草剤散布、ワックス剥離塗布・ガラスクリーニング、電気設備点検、エアコン・全熱交換器点検、喫茶室エアコン点検、電話機入替工事、公用車法定点検
7月	フェンス北側除草作業・除草剤散布、喫茶室前植込み剪定
8月	電気設備点検、玄関横及び創作交流広場樹木剪定、第1収蔵庫改修現場調査、エレベーター点検、自動制御設備点検
9月	防火扉レリーズ(固定金具)点検・調整、消防設備点検及び第5展示室・第2収蔵庫用ハロゲン化物消火設備制御盤蓄電池交換、水道メーター交換
10月	トイレ手洗い器ストレーナー清掃、電気設備点検、フェンス北側除草作業
11月	フェンス北側除草作業・除草剤散布、空調機・パッケージエアコン・全熱交換器フィルター清掃及び点検、ポンプ類点検、暖房準備点検、ガス開栓、冷却塔点検・清掃、チラー点検、暖房用ボイラ分解清掃、排気ファン点検、第2収蔵庫加湿器用ホース交換、第1収蔵庫棚改修工事、公用車タイヤ交換、戸田海笛《喜怒哀楽の図》ブロンズレリーフメンテナンス、第1収蔵庫純水器カートリッジ交換、過熱エラー点検、エレベーター点検
12月	第1収蔵庫純水器漏水点検及び第1展示室天井内点検、第1収蔵庫純水器点検、第1収蔵庫純水器空気抜き弁交換、収蔵品管理システム公開端末点検、電気設備点検
1月	ワックス剥離塗布清掃、ガラスクリーニング、男子トイレロータンク水漏れ修理、収蔵品管理システム公開端末点検、第1収蔵庫系統パッケージエアコンファン・モーターブリー・Vベルト交換、第3展示室系統冷水2次ポンプ分解清掃、正面玄関自動ドア点検
2月	第3展示室系統冷水2次ポンプ修繕、第1展示室天井(雨漏りによる染み部分)補修、第2収蔵庫パッケージエアコンVベルト張調整、第4展示室系統空調機不具合点検、電気設備点検、消防設備点検、第2収蔵庫系統パッケージエアコンVベルト交換、ハロゲン化物消火設備用蓄電池交換、ガスメーターボックス交換、エレベーター点検
3月	1階ホール系統加湿器点検、公用車タイヤ交換
その他	日常清掃業務、特別共催展・特別企画展・市展・県展会期中時間延長清掃、夜間機械警備業務、職員による館内・施設周辺日常点検

## (2) 事業の実施状況

施設の利用状況 開館日数317日、展示日数253日  
総入館者数 62,126人

## ①貸館事業

室名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用者数(人)	利用料(円)	備考
第1展示室	131	20	13,728	590,238	
第2展示室	77	9	7,848	688,371	
第3展示室	140	20	14,419	609,338	
第4展示室	127	16	15,051	1,169,090	
第5展示室	7	2	389	36,077	
合計	198	51	27,789	3,093,114	※令和4年度前納分1件含む

※利用日数、利用件数、利用者数の合計は重複しているものを除く

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る開催中止(予約キャンセル)は9件

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
<b>鑑賞事業</b>			
特別企画展 <b>甦る日本画家 木下翠雨</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館  協力：日南町美術館  関連事業：	7/16(金) ~8/22(日)  [33日間]	1,784	日南町阿毘縁出身で、春日村(現・米子市春日地区)村長も務めた日本画家・木下翠雨[きのした・すいう/1868-1946]没後75年にして初の回顧展。山水図、花鳥画、美人画、書など50点と、師の藤田台石、同門の藤田苔巖、門下であった持田稻香の作品4点もあわせて展示。展覧会図録刊行。  会場：第1~2展示室  観覧料：一般500(前売400)円、大学生以下無料 ※70歳以上の方、障がいのある方[付添1人を含む]、10人以上の団体、リピーター、美術館後援会会員、米子市歴史館友の会、Feel友の会、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなど提示の料金
オープニングトーク	7/16(金)	(34)	解説：青戸副館長兼主幹学芸員
記念講演会 「木下翠雨の時代 明治・大正期の鳥取、 大阪の日本画(南画)」	7/17(土)	-	講師：林野雅人氏(大阪中之島美術館主任学芸員) 会場：米子市立図書館 多目的研修室 <b>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</b>
学芸員レクチャー 「軸の取り扱い方」 (第1回ミュージアムスクール)	<del>7/24(土)</del> <del>7/25(日)</del> <del>7/26(月)</del>	-	講師：青戸副館長兼主幹学芸員 会場：第3展示室 <b>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</b>
学芸員によるギャラリートーク	8/7(土)	-	解説：青戸副館長兼主幹学芸員 <b>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</b>
<b>【新規】</b> おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(9)	小さな頃から美術館及び美術に親しむことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)と一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時~正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
若手作家支援展 <b>朝倉弘平 雲わく庭から</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館  関連事業：	2/11 (金・祝) ~3/6(日)  [22日間]	2,949	郷土ゆかりの新進気鋭の作家を発掘しその育成を図る「若手作家支援展」第6回目。大山町在住の画家・朝倉弘平[あさくら・こうへい/1983年生まれ]の最新作・表題作をはじめ、『とっとりNOW』表紙原画や「大山トリップカード」原画シリーズなど138点(会期中に一部展示替)を展示。展覧会図録刊行。  会場：第4展示室 観覧無料
ワークショップ 「ワイワイするにわには？」 (プレイベント/ 第3回ミュージアムスクール)	11/3(水・祝)	(28)	講師：朝倉弘平氏(本展出品作家) 会場：第1展示室
作家によるギャラリートーク	<del>2/11(金・祝)</del> <del>2/20(日)</del> <del>2/27(日)</del>	-	解説：朝倉弘平氏(本展出品作家) <b>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</b>  <b>※代替として作家によるオンラインギャラリートーク配信</b>
作品をみて・はなして・きこう！ (対話による作品鑑賞)	2/23(水・祝)	(6)	進行：蔵多優美氏 (デザイナー/コーディネーター/アートマネージャー)

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
<b>管理運営等事業</b>			
<b>展覧会事業</b>			
<b>特別共催展</b> <b>フォーエバー現代美術館コレクション</b> <b>草間彌生展</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 新日本海新聞社  特別協賛：山陰酸素グループ 特別協力：フォーエバー現代美術館 協力：株式会社アート・ コンサルティング・ファーム	4/24(土) ~5/30(日)  会期中無休 [37日間]	<b>21,234</b>	フォーエバー現代美術館が所蔵する豊富な草間彌生 [くさま・やよい/1929-] のコレクションから版画や絵画、立体作品などを加えた134点と、KDDIとのコラボ携帯電話3点を展示。現在の草間彌生を象徴するモチーフが生まれた1980~1990年代の作品群を中心に、幻想的で豊かな色彩の独特の世界を紹介した。  会場：第1~4展示室  観覧料：一般 1,100(前売900)円、 高校・大学生 700円、中学生以下無料 *一般で15人以上の団体(※)、障がいのある方(付添1人を含む)は前売料金 *70歳以上の方、高校・大学生で15人以上の団体や障がいのある方(付添1人を含む)、日本海新聞みちちゃんクラブ・米子市美術館後援会・Feel友の会・米子市歴史館友の会会員は当日料金の100円割引 *会期中の水曜日は「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」提示当日券の100円割引
<b>関連事業：</b>  日本海新聞 発刊45周年記念イベント	5/1(土)	-	当日誕生日の方は観覧無料、 当日先着50人に草間彌生作品ポストカードプレゼント
映画上映会 「≡草間彌生 わたし大好き」	5/16(日)	<b>46(※)</b>	会場：米子市立図書館 多目的研修室 監督：松本貴子/2008年/本編尺102分
映画上映会 「草間彌生∞INFINITY」	5/23(日)	<b>45(※)</b>	会場：米子市立図書館 多目的研修室 監督：ヘザー・レンズ/2018年/本編尺77分
<b>第60回記念</b> <b>米子市美術展覧会(市展)</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	6/11(金) ~6/19(土) 会期中無休 [9日間]	<b>2,707</b>	市民から公募した6部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻)287点を展示。  *初日開会式にて安田彰氏(琴アンサンブル安田会/米子市音楽祭出演団体)による演奏披露、表彰式、審査講評を実施。  会場：第1~5展示室 観覧料：無料
<b>共催展</b> <b>共に生きるアート展 KANSEI8</b> <b>~障がいのある人たちが</b> <b>創造するカタチ~</b>  主催：米子市 共催：米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	9/27(月) ~10/4(月) [7日間]	<b>809</b>	市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品167点を展示。  会場：第4展示室 観覧料：無料
<b>第65回</b> <b>鳥取県美術展覧会(県展)</b>  主催：鳥取県、鳥取県教育委員会、 新日本海新聞社 共催：米子市美術館、倉吉博物館、 日南町美術館	10/9(土)~ 10/18(月) 会期中無休 [10日間]	<b>2,559</b>	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品399点を展示。  会場：全館 観覧料：無料 *初日に審査員による講評とギャラリートークを実施
コレクション展I  <b>版画の多様性</b> <b>-様々な素材 様々な技法-</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	9/5(日) ~10/3(日) [25日間]	<b>1,012</b>	本年度より、収蔵作品展を「常設展」から「コレクション展」へ改称。本展では凸版(木版など)・凹版(銅版など)・平版(リトグラフなど)・孔版(シルクスクリーンなど)といった4種類の基本的な版形式に注目し、それぞれの版種の特性を紹介。池田満寿夫《座せるスフィンクス》など50点の版画作品と関連資料を展示。  会場：第2展示室 観覧料：一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1人含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *( )内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」提示の料金

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
関連事業：			
ギャラリートーク (学芸員による展示解説)	9/18(土) 10/2(土)	(17)	解説：喜多村主幹学芸員
【新規】 おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(4)	幼い頃から美術館及び美術に親しむことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。対象者に展示作品の細部に着目できるペーパーを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
コレクション展Ⅱ  日常のかたち  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	10/31(日) ～11/28(日) [26日間]	1,217	足立正太郎《ラジオ》など、收藏品からかつての「日常」を描いた洋画や日本画、なにげない出来事やその印象を捉えた写真、彫刻、版画作品など44点を展示。  会場：第2展示室 観覧料：コレクション展Ⅰに同じ  *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3、11/13、11/14の3日間 (期間中入場者数：533人)
関連事業：			
ギャラリートーク (学芸員による展示解説)	11/20(土)	(9)	解説：小川統括学芸員
【新規】 かぞくでアートじかん	会期中 毎週月・金曜	(0)	小さな頃から美術館及び美術に親しむことを目的に、未就学児とその保護者とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月・金曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるペーパークイズを据置配布して、大人も子どもも楽しめる鑑賞を促した。
教育普及事業			
ミュージアムスクール	全4回		
学芸員レクチャー 「軸の取り扱い方」 (特別企画展関連事業)	7/24(土)– 7/25(日)– 7/26(月)–	–	講師：青戸副館長兼主幹学芸員 会場：第3展示室 <b>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</b>
アートな散歩 (美術館・山陰歴史館連携事業/ フレイル予防事業)	10/17(日)	15(※)	解説：(当館)喜多村主幹学芸員、 (山陰歴史館)山本副館長兼主幹学芸員 場所：米子市美術館→加茂川沿い→内町ポケットパーク→山陰歴史館
ワークショップ 「ワイワイするにわには？」 (若手作家支援展関連イベント)	11/3(水・祝)	28	講師：朝倉弘平氏 (若手作家支援展出品作家) 会場：第1展示室
映画上映会 「ゴッホ 最期の手紙」	3/27(日)	38	会場：第1展示室 監督・脚本：ドロタ・コビエラ、ヒュー・ウェルチマン 2017年/本編尺96分/日本語吹き替え版
出前講座	全2回		
就将小学校藤樹会による 米子彫刻ロード清掃	7/2(金)	35(※)	依頼元：米子市立就将小学校 解説：小川統括学芸員 場所：米子彫刻ロード(新加茂川沿い)
「甦る日本画家 木下翠雨」 へのお誘い	7/22(木)– [中止]	–	依頼元：米子地区書道連盟 講演：青戸副館長兼主幹学芸員 会場：米子市公会堂 <b>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止</b>
米子市文化財団・ 米子工業高等専門学校連携事業	–	–	<b>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止</b>
米子市文化財団連携事業  米子市文化財団 カルチャー・フェスティバル2021 「レッツリメイク！ポスターバッグ」	11/6(土)	フェス全体 2,568(※)  うち 美術館ブース 98(※)	米子市文化財団が管理・受託している各施設が特色のあるワークショップを実施した。美術館ブースでは過去の展覧会ポスターを活用したペーパーバッグを作るワークショップを実施した。 会場：米子市立図書館及び米子市美術館前エントランス広場 創作・交流広場
「施設紹介展示&クイズラリー」	11/2(火)～7(日)	366(※)	会場：米子市立図書館2階市民ギャラリー

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
博物館実習受入	随時	-	4人受入(和光大学1人、大谷大学大学院1人、京都先端科学大学1人、八洲学園大学1人)
インターンシップ受入	随時	-	2人受入(鳥取環境大学1人、日本海情報ビジネス専門学校1人)
サポーター(ボランティア)	通年	-	展覧会広報補助、展覧会関連事業補助等 18回活動(第8期1年目・34人登録)
アンケート	通年	-	展覧会・イベント来場者に配布し意見・要望等を回収、また11月より一般入館者を対象にしたアンケートを新規作成、館内に回収箱を設置
ホームページによる情報提供	通年	-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新
SNSによる情報発信	随時	-	Twitter上で展覧会関連情報・イベント関連情報やトピックをリアルタイムで発信
資料収集事業			
郷土関係作家、次年度以降事業資料収集	通年	-	収蔵作家関係、地元作家、若手作家関係調査
			次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵作品・資料データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵図書データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵品の修理・修復	随時	-	米子市所蔵及び寄託刀剣手入
			平山郁夫《タリム河》アクリル撤去
			生田真《ゆりと椅子》他計3点額装 徳持耕一郎《Piano & bassman》マット装
収蔵品の貸出等	随時	-	「木下翠雨の里帰りと同時代を生きた郷土の日本画家たち」(日南町美術館)へ藤田台石《高土図》他計2点貸出
			「刀剣展-島根と中国地方の優品-」(出雲文化伝承館)へ寄託作品《太刀 銘 安綱》1点貸出
			「線をかざる日なし/Nulla dies sine linea -鳥取ゆかりの美術家による素描」(鳥取県立博物館)へ木山義喬《男胸像》他計11点貸出
			画像貸出4件(5点)
収蔵品状況			洋画204点、日本画93点、素描294点、彫刻34点、書10点、版画364点、写真841点、工芸1点、資料74点 合計1,915点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
【新規】年報発行	9月発行	-	隔年報として令和元・2年度の2ヶ年分の美術館活動報告をまとめ、巻末に付録として開館以降の展覧会実施状況を収録
【新規】戸田海笛《喜怒哀楽の図》 ブロンズレリーフの点検・清掃	11/27(土)~28(日)	-	《喜怒哀楽の図》のブロンズ鑄造を手掛けた黒谷美術株式会社による点検と清掃を実施、また同作のメンテナンス方法を学び維持管理に努めた。
【新規】オリジナルグッズの製作	(調査年)	-	収蔵作品をモチーフにしたオリジナルグッズ製作に向け要望をアンケートやSNSを活用した調査を実施
開館記念日イベント	6/17(木)	-	米子市展会期中の当日来場者319人に収蔵作品ポストカードプレゼント
井上幸夫・英子コレクション 展示替等	7月 9月 12月 3月	-	アジア博物館に寄託されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について定期点検を実施
主催事業入場者数合計(人)		34,337	美術館外で実施したもの(※)及び入場者が重複しているもの( )は除く

米子市美術館の管理業務の実施に係る収支状況（令和3年度）			
収 入（円）		支 出（円）	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料収入	59,692,000	人件費	29,761,809
利用料収入	3,093,114	館長(1人)	
事業収入	7,384,440	副館長(学芸員兼務1人)	
特別企画展	944,250	学芸員(2人)	
特別共催展	5,389,331	事務員(2人)	
コレクション展	129,090	施設費	23,551,217
市展	455,000	通信運搬費	233,799
若手作家支援展	458,769	手数料	145,553
教育普及事業	8,000	消耗什器備品費	35,036
補助金等収入	215,630	消耗品費	899,503
米子市	215,630	修繕費	393,940
雑収入	172,134	印刷製本費	122,100
		食糧費	7,710
		光熱水料費	8,771,276
		電気・ガス・上下水道	
		賃借料	3,411,092
		保険料	43,570
		租税公課	3,737,300
		支払負担金	109,130
		委託費	5,570,900
		清掃委託費	
		警備委託費	
		昇降機保守点検費	
		空調設備機器保守点検費	
		消防用設備機器保守点検費	
		自動ドア保守点検費	
		収蔵庫純水器交換費	
		ブロンズレリーフメンテナンス委託費	
		高木剪定委託費	
		車両費	62,608
		雑費	7,700
		施設事業費	10,840,981
		特別企画展	2,921,941
		特別共催展	3,000,000
		コレクション展	1,208,668
		市展	1,474,114
		県展	9,880
		若手作家支援展	1,274,842
		教育普及事業	153,396
		資料収集事業	327,595
		年報発行	319,794
		財団施設連携事業	19,546
		井上コレクション展示替等	131,205
		事務局費	5,602,000
		収支差額	801,311
合 計	70,557,318	合 計	70,557,318